

藤田六郎兵衛に観世寿夫賞



笛方藤田流家元の藤田六郎兵衛(五)の写真が「第三十三回観世寿夫記念法政大学能楽賞」を受賞した。同賞は業績顕著な実演家・団体や研究者に贈られる、能楽界で最も権威ある賞。東海勢の受賞

東海勢で個人初

は、一九九一年の「狂言共同社」以来二十年ぶりで、個人では初めて。

来年一月十六日、東京都内で授賞式がある。副賞三十万円。

受賞理由で「的確な技術と

深い作品理解に裏打ちされた笛は近年ますます充実し、得難い調子と位をつくりだして、多くの舞台成果に貢献している」と称賛し、特に最近の秘曲「関寺小町」「嫉捨」での演奏を評価。「曲趣を見事に体現して秀逸。重要な舞台になくしてはならない囃子方の一人」とした。

六郎兵衛は「ぼくらの世代のあこがれだった観世寿夫先生を顕彰する賞を受け、身に余る光栄」と喜んだ。

もう一人の受賞者は、野村万作の会の主要演者として活躍する和泉流狂言方の石田幸雄(六)。「明快な口跡と的確な人物表現」が評価された。

また、能楽三役の功労者らに贈る「第二十二回催花賞」は、金春流太鼓方の三島元太郎(七)が受賞した。